

しずくいし 議会だより

No.
104
2018. 1
編集／広報広聴常任委員会
発行／岩手県栗石町議会



●今号の主な内容

町民と議会との懇談会…2

12月定例会…4

町政を問う

一般質問 8議員が質問…7

先進地に学ぶ …16

ふるさとへの便り(70) …19

●今号の表紙／まちの笑顔シリーズ

『栗石排球団』 …20



新年のごあいさつ

雫石町議会議員長
前田 隆雄

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方には、輝かしい平成30年の新春をお健やかに迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

さて、去年は、大村小学校、南畑小学校及び安庭小学校の3校が統合し、新生「御所小学校」が開校しました。今年も、御明神小学校と橋場小学校の2校が、西根小学校、上長山小学校及び下長

山小学校の3校がそれぞれ統合し、新たに2校の小学校が開校することとなります。これまで、統合に向けて準備いただきました地域の皆様方に対して、衷心より感謝を申し上げます。

将来を担う子どもたちの教育環境の整備は重要課題と捉え、議会といたしましても、最善の努力をしております。

今後とも、私たち議員一同、町民の代表としての責務と役割の重大さを深く認識し、多くの町民の皆様方と対話を重ね、意見を聞いてまいる所存です。

結びに、自然災害のない平穏な一年でありますことを祈念するとともに、町民の皆様にとりまして、実り多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

町民と議会との懇談会を開催



板橋公民館

雫石町議会では、町政に関する情報提供と町民の皆様のご意見やご要望を広くお聴きするため、「町民と議会との懇談会」を11月11日、12日、18日の3日間6会場で開催しました。

延べ61人（去年は49人）の方々に参加いただき、地域の生活環境問題や町有地14ヘクタール利活用問題等多岐にわたる質問、意見、要望が出されました。その概要をお知らせします。

～このようなご意見・ご要望がありました(抜粋)～

晴山公民館(4名参加)

- へき地保育所は、空いていても入所できないそうだが、どうしてか。
- 誘致企業による騒音で生活を脅されている。議員は町民の声をしっかり聞いて、きちっと提言してほしい。

黒沢公民館(8名参加)

- まがき地区の田んぼは湿地帯で区画整備もされておらず、基盤整備を強く要望する。
- 25年8月の豪雨災害時、自治会として赤沢川の改修について陳情し、復旧工事も終わっているが、拡張工事をしてほしい。
- 待機児童問題は、人口減少対策を解消する重要な取り組み、施策だと思う。

極楽野公民館(9名参加)

- 上長山小学校の跡地はどうか。日本能率協会マネジメントセンターの方たちが跡地利用を検討すると説明を受けたが、140年続いた校舎への思いに温度差があり、がっかりした。
- 地域おこし協力隊は何をしているのかさっぱりわからない。
- 鹿やクマが増えている。ハンターを増やす、補助金増額など早急に対応をお願いしたい。

安庭公民館(10名参加)

- 歩道が切れているのでつなげてほしい。
- 30人もいる待機児童を早めに解消して欲しい。西根保育所は、古くて寒いので廃校となる西根小学校を活用できないか。

土橋公民館(17名参加)

- 人口減少対策として企業誘致を積極的に行い、子育て環境の整備など、若い人を呼び戻す政策をしてほしい。
- 農業の後継者に会い作りが必要。兼業農家への政策も考えてほしい。

板橋公民館(13名参加)

- 町は最低限、法律を順守してほしい。
- 板橋は雫石町の玄関口だと思う。古い建物や、モーターを何とかしてほしい。
- 街路灯を、全部防犯灯に格上げしてほしい。



土橋公民館

※「町民と議会の懇談会」の会議録は、町当局に確認中のものもありますので、回答を得たい雫石町議会のホームページに掲載いたします。

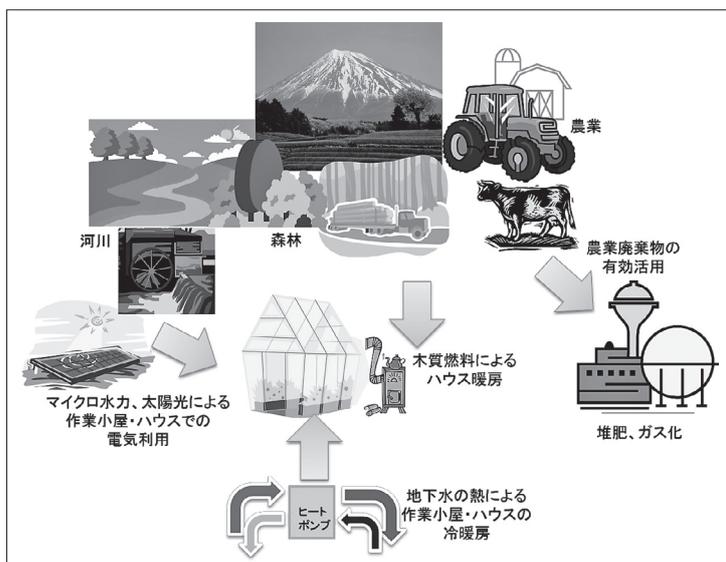
環境保全のまちへ

再生可能エネルギー条例を可決

平成29年12月定例会は、12月1日から11日までの11日間の会期で行われました。

審査議案17件のうち、条例制定案が2件、条例の一部改正案が4件、各補正予算案が7件、その他案件が4件、すべて原案のとおり可決しました。

そのほかに、同意案件が1件、請願・陳情1件を採択し、議員発議により国および関係省庁に提出しました。一般質問は8議員が登壇、2日間にわたり活潑な論戦が展開され、町の考えを質しました。



農業分野への支援イメージ

地域の健全な発展と調和のとれた事業の実施や、町民による主体的な再生可能エネルギーの利用促進を図ることについて、事業者や町民の責務などの基本理念を定め、持続可能な地域づくりをしていくことを目的に、再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例が策定されました。

太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなど、自然の営みから得られるエネルギー源を上手に活用していくためのルールづくりですが、施行規則とガイドラインも合わせて策定する予定と答えています。

協働のまちづくり推進条例も可決

27年度から4地区別に「地域づくり会議」を設置し、持続可能な地域づくりを進めるための活動が続けられてきましたが、誰もがまちづくりに参加できる環境づくりを進めることや、協働によるまちづくりの基本的な考え方を示しています。地域がまちづくりを行う中で、ある程度必要とされる財政的支援も行っていくことなど進めていくとしています。

平成29年度補正予算（主なもの）

○雫石町一般会計補正予算（第7号）

補正前の額	補正額	計
97億9,540万4千円	5,994万4千円	98億5,534万8千円

主な内訳

▶七ツ森地域交流拠点施設管理備品購入費	1,651万5千円
▶健康センタースプリンクラー設置工事	5,977万8千円
▶道路側溝改修工事	2,180万円
▶除雪車購入費（減）	△3,780万円
▶道路改良工事（減）	△7,062万8千円
▶橋梁点検業務委託料	2,999万8千円
▶橋梁架け替え工事（減）	△2,008万円

主な質疑

健康センターにスプリンクラー設置

問 【谷地議員】健康センターのスプリンクラー設置工事は全体にという意味か、前に診療所部分は設置したはずだが。

答 1階の集いの広場や健康推進課の事務スペースを含めた健康センターの部分に設置する。延べ床面積にかかわらず、有床診療所はスプリンクラーの設置が義務付けられた。

備品は補助対象外か

問 【川口議員】七ツ森地域交流拠点施設の管理備品は、なぜ補助対象にならなかったのか。

答 今回は地方創生の拠点整備交付金を活用しているが、この要件の中に備品は該当しなかった。

雫石高校を町が応援

問 【上野議員】雫石高校の将来ビジョンの策定はいつまでか。教育振興資金を底上げして応援すべき。

答 5回の策定委員会を開催し、具体的な目標を3月いっぱいまでに出して、来年度以降の生徒募集と高校存続を進める。

討論要旨

反対〈大村議員〉

七ツ森地域交流拠点施設管理備品購入費 1,651 万 5 千円の計上に反対する。この管理備品は補助対象として町財源からの支出を削減するべきであるのに、そのような工夫がされていない。

賛成〈堂前議員〉

この交流拠点施設は、町有地 14 ヘクタールを活用した国のモデルプロジェクトの中核施設となるものであり、町民にも広く利用してもらう目的で整備している。施設としての機能を十分発揮できるよう所要の整備は必要である。

〇雫石町一般会計補正予算（第 8 号）

補正前の額	補正額	計
98 億 5,534 万 8 千円	3 億 3,622 万 5 千円	101 億 9,157 万 3 千円

主な内訳

▶ 弁護士報奨金	65 万円
▶ 公金返還事件弁護士委託料	63 万 8 千円
▶ 道路橋梁災害復旧工事	2 億 7,320 万 8 千円
▶ 河川災害復旧工事	6,172 万 9 千円

主な質疑

法的不安が残る事業、今後の進め方は

問

【堂前議員】再び訴訟を起こされた網張の源泉、七ツ森地域交流拠点施設のプロポーザルの発注等、法的に非常に不安が残るが、やり方、進め方をどうするのか。

答

さまざまな規定、規約等に準じながら進めてきたが、確認不足があり問題が出た。今後適正に事務が進むよう改善策を講じる。



3月完成予定の七ツ森地域交流拠点施設

討論要旨

反対〈大村議員〉

公金返還事件弁護士委託料 63 万 8 千円、弁護士報奨金 65 万円の計上に反対する。同一事業について 2 回も住民訴訟が起きるなど例のないことで、それだけ深刻な行政事務執行上の問題を含んでいる。

発議

〇発議第 1 号 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書の提出について

国においては、核兵器が再び使われかねない危うい状態が続いている今だからこそ、核兵器の悲惨さを知る唯一の国の政府として、条約締結の先頭に立って速やかに署名し、国会での承認を経て条約を批准するよう強く求める内容の意見書を提出しました。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
外務大臣

ありがとうございました 請願・陳情 皆さんからの

〇請願第 3 号 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願（採択）

唯一の被爆国である我が国は条約締結の先頭に立って速やかに署名し、国会での承認を経て条約を批准することを求めることが必要であると意見が一致し「採択」とした。

人事

〇教育委員会教育長の任命に同意しました。



氏名 よしかわ けんじ 吉川 健次 氏
(71 歳・雫石町万田渡 77 番地 1)
任期 平成 29 年 12 月 26 日から
3 年間

平成 29 年第 9 回 雫石町議会 12 月定例会 会期：12 月 1 日（金）～ 12 月 11 日（月）

議案等 番号	件名	議員名														採決結果	
		堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤真純		
議案第 1 号	雫石町協働のまちづくり推進条例の制定について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	雫石町再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	雫石町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	雫石町立学校設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算（第 7 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	平成 29 年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成 29 年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	平成 29 年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	平成 29 年度雫石町水道事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	平成 29 年度雫石町下水道事業会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合同規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 15 号	盛岡地区衛生処理組合同規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 16 号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算（第 8 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	町道篤宿線篤宿橋架替工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第 1 号	教育委員会教育長の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 1 号	核兵器禁止条例の署名・批准を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成 29 年第 8 回 雫石町議会臨時会 会期：11 月 24 日（金）

議案等 番号	件名	議員名														採決結果	
		堂前義信	横手寿明	岩持清美	山崎留美子	杉澤敏明	川口一男	西田征洋	谷地善和	村田厚生	石亀 貢	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	加藤真純		
承認第 1 号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第 2 号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算（第 5 号）の専決処分に関し承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 1 号	平成 29 年度雫石町一般会計補正予算（第 6 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	町立雫石中学校スーパーエコスクール改修等工事（第 1 期）の請負契約の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成、●…反対、欠…欠席 ※前田議長は採決には加わりません。

12月定例会

一般質問 町政を問う 8議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

質問者	質問内容	掲載頁
 すぎさわとしあき 杉澤敏明議員	条例の施行による改善点は	8
 かわぐちかずお 川口一男議員	七ツ森地域交流拠点整備 工事変更は	9
 おおむらしょうとう 大村昭東議員	適法要件を欠く事業が 多すぎる	10
 よこてとしあき 横手寿明議員	小中学校の給食費無料化を	11
 うわのみよじ 上野三四二議員	有害鳥獣駆除・防除対策は	12
 にしだまさひろ 西田征洋議員	設置希望者全員に 補助金交付を	13
 やまざき るみこ 山崎留美子議員	岩手山の景観、 保全措置を示せ	14
 いわもちきよみ 岩持清美議員	西長橋、 復旧工事いつまでに	15

議会映像を配信中

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンから、議会映像を見ることができます。

また、議場内には大型スクリーンが設置され、ご来場いただいた方に、審議の内容がよりわかりやすく、ご覧いただけるようになりました。

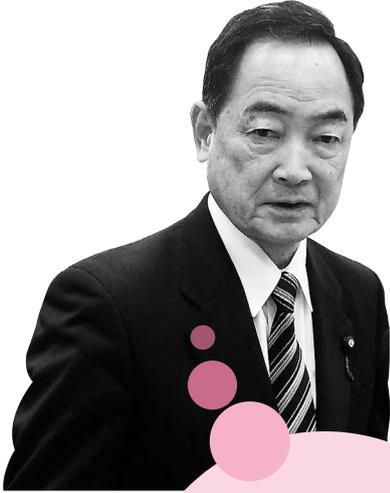
詳しくは、雫石町のホームページから、「雫石町議会 議会映像配信について」にアクセスしていただくか、下記のアドレスからご覧ください。

■公開用 URL <http://smart.discussvision.net/smart/shizukuishi/>

**3月定例会は、2月22日(木)開会予定です。
本会議は、通常午前10時から開会します。**

条例の施行による改善点は

町長／事業の適正な促進を図る



可能性が高い地熱や
太陽光などの発電に
積極的に取り組むべきだ。

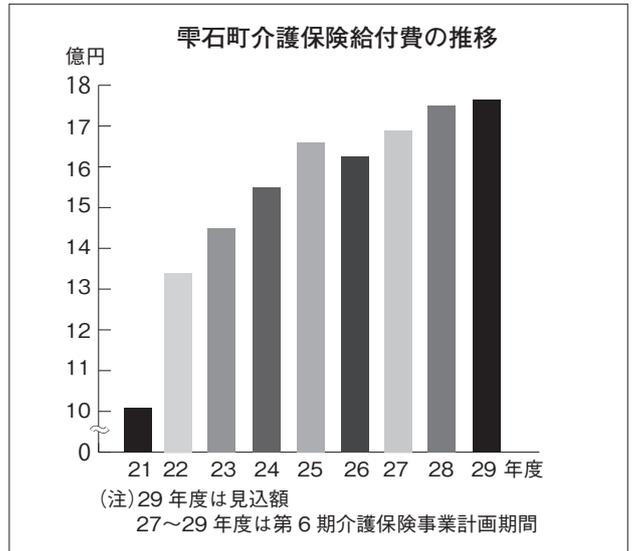
問 町では、雫石町再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例を制定しようとしているが、この条例が施行されれば、施行前に比べどのような点が改善されるのか。

町長 町内における再生可能エネルギー事業は着実に広がっているが、地域住民への説明が不十分なまま実施されることによるトラブルが顕在化してきている。条例を施行し、事業者が地域住民への説明を行うよう義務付け、住民と十分にコミュニケーションを図り、また、住民からの申し入れに誠意を持って対応することにより、再生可能エネルギー事業の適正な促進を図るものである。

次期介護保険料の見込みは

問 第7期介護保険事業計画（平成30年度～32年度）の介護サービス利用者数の見込数および利用者1人当たりの介護保険給付費の見込みをどの程度と見込んでいるか。また第1号被保険者の月額保険料は、いくらになる見込みか。

町長 第7期計画期間中の年間平均要介護、要支援認定者数は1,100人、うちサービス利用者数は1,000人程度と見込んでいる。介護認定者数の急激な増加はないものの、利用者数は年々増加していることから、1人当たりの介護給付費は増加すると見込んでいる。このため、第1号被保険者の月額保険料の増額は避けられない状況である。



火葬場のトイレ改修を

問 本町の火葬場のトイレは和式のものであり、使用する際には、大変つらい思いをしている人が多い。早急に改修する考えはないか。

町長 洋式トイレに改修してほしいとの声が多いとのことであり、改修する方向で進める。

問 建物の床面積が当初計画より少なくなっていると聞く。議会に説明もなく、また金額変更もなく進行していると思うが。

町長 契約の締結後、毎月関係者による工程会議において設計図書及び材料見通し等、工事に関する協議や全ての行程の確認を行っている。契約金額を変更しない理由については、8月8日に確認申請を行っているが、床面積は465.2平方メートル、通路部分を加えた全体の建築面積は604.78平方メートルとなっており契約額の変更は原則として行わないこととしている。

(株)しずくいしの再建案は

問 (株)しずくいしの再建案を10月中に議会に報告すると9月議会で答弁している。何の報告もないが。

町長 (株)しずくいしの経営状況は21年度から8期連続の経営損失を計上しており、まことに憂慮すべき状況にある。11月20日に(株)しずくいしの取締役会において経営状況が報告された。銀河ステーション事業の経営状況は非常に厳しいとのことであり、(株)しずくいしの社長とも協議している。部門の継続は、困難とする意見も出された。早急に改善策を打ち出していく。



伊石駅1階のレストラン



町長／契約額の変更は行わない

七ツ森地域交流拠点整備工事変更は

町民は我々議員を思ってくれている。議員として正論を言っても町がやらないのは、軽視されているということかなあ。

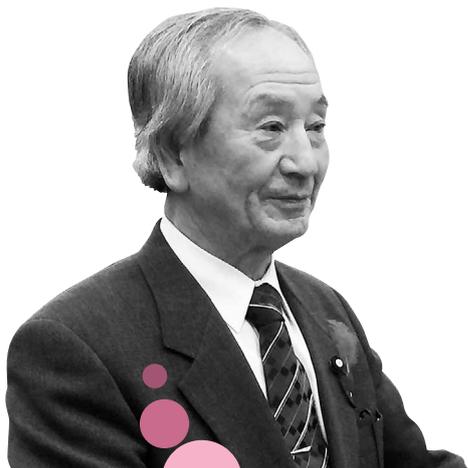
議会軽視では

問 町民と議会との懇談会を町内6カ所で開催しての意見で、議会は当局から軽視されているのではないかとの声が出た。

町長 議会を軽視しているいろんなことを進めようという気持ちは毛頭ない。様々なところで説明不足であることについて、本当に反省をしている。

適法要件を欠く事業が多すぎる

町長／公正に職務を遂行する



七ツ森地域
交流拠点施設と
網張温泉掘削などは、
法令違反だ。
公益に反している。
なぜ町長も職員も
ゴリ押ししか？

問 七ツ森地域交流拠点施設整備事業、網張温泉掘削事業、クロスカントリースキー場管理委託料、耕作放棄地復旧事業、七ツ森保育所改修工事は有効要件、適法要件を欠き公益に反している。

町長 公正に職務を遂行する。

問 休暇村が温泉掘削する町有地の使用許可を省略したのはなぜか。法令違反では。

観光商工課長 反省し、適正に処置したい。

問 町が温泉掘削しないのに、手数料など161,400円の支出は違法だ。会計管理者の責任は。

観光商工課長 違法ではない。

問 これは県央H市の農地転用許可事件と同じケースだ。危機感はないのか。

観光商工課長 特に問題はない。

問 七ツ森交流拠点施設の内容が議決した平面図と違う。誰が認めたのか。

企画財政課長 工程会議で変更した。

問 議会は何も知らない。町長なぜか。

企画財政課長 業者と協議して詰めた。

問 議決は、全面ガラス張りの建物だ。誰の権限で変えたのか。

企画財政課長 契約議決は相手を決めるだけだ。

問 地熱利用冷暖房、太陽熱雨水利用の計画はどうなったか。

地域整備課長 ランニングコスト等のこともあり、見送ったものもある。

文武両道の児童生徒の育成について

問 社会活動を行っている遠友朝学校の会と、早朝体操の会が協働で、小学校低学年の生徒とともに文武両道の学習活動を行っている。11月24日と25日には、西山牧野放牧地で、鳥取県大山町議会議員で札幌オリンピック日本代表や冬季五輪アルペンスキー監督を4回勤めた大杖正彦氏から、アルペンスキー指導助言を受けた。町はこうした社会活動を支援する考えはないか。

町長 相談してみたいと思っている。



よしざわ
芳沢牧野での雪上指導

小中学校の給食費無料化を

町長／子育て環境向上に
大きな価値がある



給食費を
集金する人も
大変なんだよなあ…

問 子育て世代の支援として、また若者世代の移住・定住策として小中学校の給食費の無料化を実施する考えはないか。

町長 子どもたちを心身共に健康な大人に育て上げることは保護者だけでなく、町民全体の責務でもある。財政的な面も考慮し小中学校、あるいは段階的にできるか検討する必要があると考える。

教育長 全国的には60自治体で実施しており、実施できれば岩手県内では初めてとなる。町民全てが子どもたちのために援助するというような方策にもつながるので、ぜひ実施したいと考える。

問 本町でもふるさと納税で寄付をしていただいているが、何に使われているかわからないというよりも、明確にわかるようにこの給食費無料化の財源に使えないか。

企画財政課長 寄付者が使い道を指定される場合、子育てにというのが一番多い。給食費無料化については慎重に検討し、3月定例会には報告したい。



期待したい給食費の無料化

スポーツ合宿、大会誘致は

問 昨年度の国体後、その経験を踏まえ今年度は合宿誘致に力を入れ取り組むとしていたが、これまでの実績、成果は。

町長 昨年行われた国体のレガシーとして、岩手国体雫石町開催記念アーチェリー大会を総合運動公園で開催した。また愛媛国体に向けた、岩手県選手団の強化合宿を旧南畑小グラウンドで行った。来年度8月には全国高体連アーチェリー専門部主催事業「日韓交流強化事業」が東北地

方で初めて総合運動公園で行われる予定で、日韓の選手団合わせ約150人の参加が見込まれる。

問 旧南畑小はスポーツ合宿に使えるような施設に整備する計画だが、いつまでに整備するのか。

生涯学習課長 30年度中には鶯宿運動場も含めたエリア的な計画を立て進めていくが、校舎やグラウンド、体育館については解放し使えるようにしていく。

有害鳥獣駆除・防除対策は

町長／新規免許取得で10万円補助



具体的な答弁が
無かったので、
予算委員会では…。

問 新種を含む野生鳥獣による被害が拡大している。猟友会支援と新規免許取得者育成を強化し協力を求めるとともに、全町で取り組み駆除・防除の対策が必要である。実行性ある行動計画はどうか。

町長 町鳥獣被害防止計画を策定し、猟友会員を実施隊員として委嘱し、活動している。また捕獲機材の整備や電気柵設置の補助も実施するなど全力で取り組んでいる。

猟友会員は高齢化もあり、若いメンバー育成のため、新規免許取得者で実施隊加入者に銃器購入とか銃保管庫など資金がかかるので10万円の助成をしている。

農業公社構想の再検討を

問 雫石型農業の再生を賭け、30年農政転換の時代を乗り越えていくため大規模、小規模とも生き残れるため農業公社構想の再検討が必要でないか。

町長 15年からの公社検討については、公社そのものを設置ではなく耕畜連携による資源循環と町内産の農産物が観光施設を含む利用体制の構築だったが町施設の各種事業へ継承に留まっている。雫石らしい公社のあり方を研究する段階で、指導センターの体制づくりをしてきたこともあり、もう少し時間をかけ検討していく。

平和・情操教育のために

問 人権擁護委員協議会主催による「中学生による人権尊重に関する意見発表会」で選考された10名の生徒による発表があった。その中で、盛岡市内の中学生が「8月6日広島平和友好派遣団の一員として参加して、原爆や戦争の恐ろしさ、被爆者への差別、人間の価値観あるいは偏見を学んだ」と発表した。このことは、町民と議会との懇談会でも情操平和教育の一貫として小学校高学年、中学生の派遣も提起されているので、検討をしてはどうか。

教育委員長 平和教育は学習指導要領に定められており、小学生は社会、中学生は社会の地理、歴史と公民分野で戦争の歴史や憲法の平和主義を学んでいる。盛岡市が児童生徒を被爆地へ派遣する事業は承知している。それとは別に、長崎への派遣事業もあるので、周知していく。



世界遺産の広島原爆ドーム

問 今年度の電気柵設置補助事業は予算オーバーということで補助を受けられなかった人がある。不公平感があり農家の不満はかなり多いものがあり、来年度予算では設置希望者全員に補助金交付ができるよう配慮できないか。

町長 有害鳥獣被害対策は電気柵設置を含めいろいろ方法があり、電気柵設置補助事業は限られた予算のなかで対応することになる。



ソーラー式電気柵



捕獲された 132 キログラムの巨大イノシシ

シャワー機能付きトイレの改修促進

問 体の不自由な人たちや老人を中心に公的施設のシャワー機能付きトイレ設置の要望の声が大きいが、どう応えるか。

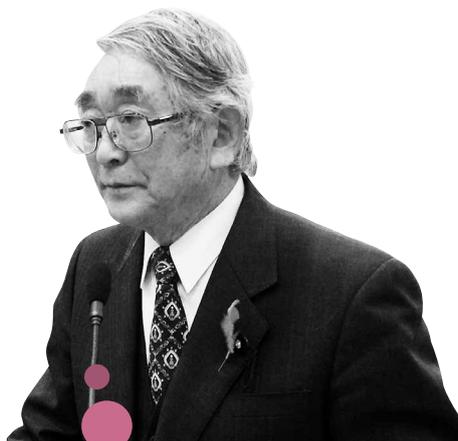
町長 町内の公的施設のシャワー機能付きトイレの設置は全トイレの中で19パーセントであり、今後予算の配分を含めてどういうトイレにするか検討しながら改修していきたい。

一般会計からの法定外繰入を含め、 どうなるか

問 国保会計が来年度から県に移行するのに伴い、町の独自性の確保はどうなるのか。特に町は国保会計へ一般会計からの繰り入れをやって加入者の負担の軽減をやっているのだが、持続することは可能か。

町長 町の国保料については当面、町が決めていくが法定外繰入等についてはおおむね5年くらいで解消することを目指す。

町長／限られた予算のなかで対応
設置希望者全員に補助金交付を



今年皆さんにとって
どんな年になる
のでしょか。
良い御年に
なりますように！

岩手山の景観、保全措置を示せ

町長／一律に定めることは困難



太陽光に風力もあつたな。小水力もあつたな。エネルギーを地域で賄えたら素晴らしい。

問 策定予定の再生可能エネルギー条例等ガイドラインでは、事業者は、自然環境および景観への影響を予見し十分配慮するものとある。岩手山は山麓景観区域で重点地域でもあり、保全措置をきちんと示すことが肝要ではないか。

町長 条例等に基づいて景観保全に係る措置を適正に行うことは当然であるが、事業地により地形状況や住宅の配置などが異なり、景観の保全措置について一律に定めることは困難と考えられる。

問 網張地区では今、民間による風力発電事業が進められようとしているが、事業説明会の当日まで住民の方たちに知らされていなかった。計画されている小形風力の高さは26メートル、電柱の倍以上もあり住宅からの距離も近い。住民はとても怖くて不安だと話している。ガイドラインでは、住宅からの距離などの基準を具体的に記載するとあるが、どのくらいの数値を盛り込むのか。

環境対策課 まだ検討の段階だが、他自治体のガイドライン等を参考に、住宅等から500～700メートルほどを考えに置いている。

町営住宅建て替えは

問 建て替えと再配置の検討があるが、住民への周知や具体的な計画が余り見えてこない。進展はどうか。

町長 新高前田住宅は建て替え、西根、戸沢、下長山また七ツ森の各住宅はそれに統合の上、廃止する事を決定している。セーフハウスや定住促進住宅など、多様なニーズに対応できる町営住宅として計画し、来年度以降必要な手続を経ながら整備していきたい。

問 県のマスタープランに、社会的ニーズに対応する公営住宅の整備促進というのがある。例えば町営住宅の一階を、福祉の支援を受けられる小規模多機能型にしたら地域の拠点になると思うが。

地域整備課長 公営住宅整備基準の中にも100戸以上整備する場合は、その中に社会福祉施設を設けるなどの基準がある。全体で見ても、高齢者だけのものを造るか、児童も含めたものを造るのかも含めて検討していきたい。



住宅からこんなに近い。●印地点に建つ予定の小形風力発電

西長橋、復旧工事いつまでにか 町長／31年4月の完成を目指す

問 本町では、今年も大雨、台風による災害がまた発生している。先に行われた災害復旧事業の査定結果と、復旧の見通しは。

町長 7月23日発生の豪雨災害では、申請額の9,516万9千円に対して、査定額9,031万7千円となり、査定率94.9パーセントとなった。また、8月25日発生した豪雨災害では、申請額3億1,697万2千円に対して、査定額3億1,631万5千円となり、査定率99.79パーセントとなった。復旧見通しは、年度内あるいは、新年度早々の完成を目指しているが、西長橋は、材料等の準備や、出水期の制約があるので31年4月の完成を目指す。

新御明神小は大規模改修

問 統合小学校の改修計画内容とタイムスケジュールは。

教育委員長 御所小学校は現在、屋内運動場の設計業務を発注しており、31年度には、延べ床面積920平方メートルとし、放課後児童クラブも使用する部屋を含めた計画で建設。新御明神小学校は、30年度に工事実施設計を行い、31年度には、トイレの改修、暖房設備の更新、給排水管の更新、建物全体の断熱化、教室の一部木質化等の大規模改修を計画。西山小学校は、30年度に70人程度収容できる放課後児童クラブの建設と、駐車スペースの拡大、低学年用プールの設置を早急に対応していく。

規則を守るのは役場の仕事

問 セツ森地域交流施設整備事業プロポーザル方式における、零石町公告、実施要項、審査基準、要求水準書等は、最低限守らなければならないことと考えるがどうか。

副町長 当然、守らなければならない内容だと考えている。



自分たちで作った規則
役場の発注工事で
守らないなんて、
どうする



早期復旧が待たれる西長橋

他にこんな質問もしました

- ・防災士について
- ・教育水準を、どのようにして高めるか
- ・セツ森ヴィレッジの開発申請について

総務産業常任委員会

〔岩持清美委員長〕

調査① 〈11月13日〉長野県中野市

エノキ茸生産全国の4割

長野県中野市は、果樹産出地帯ではありますが、冬場の仕事がないことから、エノキ茸の生産に取り組み、今では全国の4割を生産しています。菌茸で215億円、果樹で56億円を売り上げますが、使用後の菌床、選定の枝等の野積が問題となり、バイオマス産業都市構想へとつながっていきました。

25年に事業計画を策定し、地方創生事業に申し込みましたが、不採択となり事業化になっていませんでした。今後も、補助事業に申し込みを続けるとのことでした。



町内でも買える中野市生産のエノキ茸

調査② 〈11月14日〉長野県高山市

住民の協働事業で経費削減

長野県高山村は、16年村民投票で自立すると決定しました。おてんまとは「結」に意味合いは近く、共同で皆のためになる仕事を無報酬ですることです。役場は、各地域の要望事項を提出してもらいます。

役場で行う事業とおてんまで行う事業に振り分けます。おてんま事業には、原材料の配布、機械の貸与等で地域の協働事業を進めてもらいます。業者委託の約半分の経費でできるとのことでした。

また、16年に景観法を制定し、「良好な景観は国民

共通の資産」と位置づけ、山里の原風景を守っています。「日本で最も美しい村」連合に参加しており、ユネスコパークに登録し環境保全型農業の推進や景観を守ることに取り組んでいました。雫石の足りない部分に気づかされました。

調査③ 〈11月15日〉富山県入善町

100ヘクタールを受託する女性社長

富山県入善町は、「県内一の米どころ」と評価されています。農地の集積率は70パーセント以上で、転作率は37パーセントでした。農地集積を担っているのは農業公社です。公社は、農地の受委託の斡旋を主な仕事としていました。

また、担い手確保対策の一環として、今年、全国担い手育成協議会による表彰で、経営改善部門農水大臣賞を受賞した(株)アグリたきもとを訪問しました。

この会社は、女性(30代)の社長で、大部分を公社の委託による100ヘクタールの農地に、水稲と大豆を作付していました。会社は、女性の働きやすい環境整備に力点を置き、生産高1億円でした。



農水大臣賞を受賞した(株)アグリたきもと

広報広聴常任委員会

〔山崎留美子委員長〕

調査① 〈10月31日〉タブレット端末の活用研修

ペーパーレスで情報共有が可能

「タブレットから始まる ICT 化と開かれた議会」の研修を議員全員で受けました。大量の文書や資料はペーパーで配布されている現状ですが、今後はパソコンと同様の機能を持つタブレットで管理していこう、ということです。当局からも参加者が多く、行政と一体で導入に向けて進めていけたら情報共有や会議もスムーズにいき期待したいところです。



意外とできたタブレット端末操作

調査② 〈11月9日～10日〉広報担当者研修

各町村の広報をクリニック

「住民に読まれ議会活動が伝わる」紙面づくりについての研修会が花巻市で行われました。14町3村の担当者が参加し、当議会よりも講師からクリニックと称する点検を受けました。思わず読んでしまう見出しは、新聞と同様に10字以下が理想的で、15字以下が一瞬で読み切れる範囲ということです。住民との懇談会については、どんなテーマを主に話し合うかを見出しでアピールする等、アドバイスがありました。



真剣に学んだ2日間

教育民生常任委員会

〔横手寿明委員長〕

調査① 〈11月7日〉福井県池田町

地方創生時代のまちづくり・まち育て

池田町は消滅可能性都市、福井県1位と人口減少の問題を抱え、特に子育て世代の流出が多い町でした。そこで子育て施策として福井県では初めての幼保育一元化、認定こども園を実施し、英語教育授業をはじめ、「お父さん先生」といったスポーツが得意な父兄に授業をしてもらうなど独自の子育て施策を実施していました。



日本最大級の森林学習施設

調査② 〈11月7日〉福井県永平寺中学校

「地域の学校」として

永平寺中学校では、大本山永平寺で行われる「座禅学習」を昭和39年から受け継いでいるそうです。子どもたちは衣食住に関する価値や厳しさをその修行で実感し、地域を知り、地域に誇りを抱く教育活動を行っていました。また、掃除の時間になるとまずは黙想正座して心のメリハリをつけ、「無言清掃」を行うなどの取り組みを実践し、「感謝の気持ちでの清掃」が身につけていました。



清掃はすべて雑巾がけ



清掃前の黙想の様子



議会へのひとこと 皆さんの声を聞きました



つちはし あけみ
土橋 明美さん
(63歳・土橋行政区)

小さな地域から 元気を発信

私は37年間の団体職員を退職して、家族で農業をしています。健康で楽しい老後を目指し、地域で仲間とともに心と体の健康づくりを心掛けています。

今年は自治会でふれあいサロンを開始しました。将来は回数を増やしデイサービス型(?)にして高齢者を地域で支えることと、自分自身が迎える老後をいきいきと過ごすことを夢見ています。町のバスで定期的に町内の温泉巡りなどもできたらいいですね。

体力づくりをしてはいるものの、体の衰えはあちこちに現れ、我が家の農業は人も機械も老朽化して農業の老化現象を感じています。農業を生きがいとして農地や自然を守り続けている農家がいつまでも農業ができるよう、高齢者が支える小規模農家に行政の支援や、小さな地域から元気を発信し、町全体が活気づくよう多様化する自治会活動への支援を期待しています。



こばやし しゅうへい
小林 周平さん
(29歳・駅前行政区)

かけがえのない 当たり前

現在、私は妻とともに1歳半になる息子の育児に奮闘中です。

そんな私の妻は大阪からの移住者です。いつかの会話の中で、雫石の風景が大好きだと妻は言いました。春のキラキラと輝く田圃、秋の黄金色の稲穂、その向こうにそびえ立つ岩手山。雫石生まれの私にとって見慣れた当たり前の風景ですが、その言葉でこの町の美しさに改めて気づかされました。

先日、息子の一時保育の申し込みをしたところ、いっぱい受け入れられないとの回答が。待機児童問題が取り沙汰されていますし、雫石にもこの問題が当たり前に存在しているのだなあと感じました。さまざまな障害等があり、このような問題を解消するのは非常に困難なことだと思います。しかし、人口減少が進む中で住みたいと思われる町にならなければ、いずれこの町は消滅するでしょう。

雫石の美しい風景のように、子育てしやすい環境が当たり前に存在する、老若男女たくさんの人の笑顔で溢れた活気ある町になってほしいと思います。



よしの かずこ
吉野(漆原) 和子さん
(74歳・野中行政区)

荒れ地をなくして

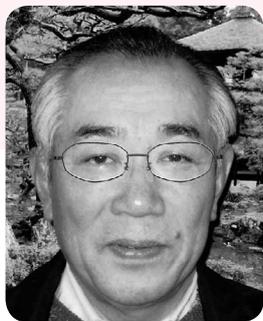
雫石に住んで4年目を迎えています。空気がおいしい、水がおいしい、朝どりの卵や野菜が手に入る。寒い冬がなければ極上の地です。近所の皆様に助けられ、薪割りをし、たくあん漬を試み、田舎暮らしに少し慣れてきました。

このごろ気になることは周りの水田が畑に代わり、やがて荒れ地になっていくところが増えてきたことです。農耕地が後継者のいないまま放置され、何とかならないものかと心をいためております。

これまで訪れた仙台平野も、^{となみ}砺波平野も後継者不足の問題をかかえているはずですが、放置された荒れ地はありません。仙台平野は美田の間に大豆畑が混じるようになりました。砺波平野は美田の中にチューリップや里芋畑が混じるようになりました。行政が関わって、上手にオーガナイズしているのではないかと考えています。

第2の故郷になりつつある雫石が、荒れ地だらけにならないよう、耕地がうまく運営・利用されていくとうれしいですね。

在京雫石町友会 会員 ^{むらかみ たもつ} 村上 保さん



そろばんと卓球が思い出、故郷に感謝

私は7人兄弟姉妹の4番目として生まれ、賑やかな家庭に育った。性格はこつこつ努力するタイプだった。父親は酒が大好きで厳しかった(分校の先生もしたことがある)。ある日畑の葡萄を友達と盗ってビンタされたこともあったが、就職後帰省した時は優しくしてくれ、二人で酒を飲んだことが忘れられない。

子どもの頃の断片的な思い出としては、小学校の修学旅行では「米」を持参したこと。秋になると、冬のストーブの焚き付け用に「杉の枯れ葉」を学校に提出するために山に行き集めたこと。秋の写生会では発電所近く迄出かけ吊り橋の上で写生したこと。学校できのこ採りに行き、きのこ汁やはんごうで炊いたごはんが美味しかったこと。正月には紅白の餅が学校で貰えたこと。親戚の兄さんと小岩井近くの山火事(野火?)を消火したこと。などの記憶が断片的によみがえる。

中でもそろばんの思い出は深い。低学年から習いはじめ、放課後の練習や早朝練習、検定が近付くと休みの日なども練習があった。当時の宮五郎校長が肩越しに教えてくれたが、たばこのにおいが子どもにはきつかった。珠算検定の日、盛岡の会場まで出かけた。そして必ず東映映画を見て帰るのがとても楽しみだった。今想えばあの時の映画の料金は担任の木村先生が出してくれたのだろうか。記憶がない。頑張った結果、五年生の時に学

校代表となり盛岡地区の大会に参加して団体(2名)優勝をしてとても嬉しかった。算盤は小学生で3級までの資格があったので就職して経理担当した時にはとても役に立った。4年間お世話になった亡き三宅(木村)先生には再会できなかったのが残念ですが今でも感謝している。兄(元教育長:村上功)の影響もあり中学、高校と卓球部だった。当時の高校は盛岡一高雫石分校だったので、盛岡の本校と一緒に練習や大会に出て活動したが、兄も卓球をしていたので指導を受けたこともある。

社会人となり大丸百貨店では、未返済者の集金業務を担当しとても苦労した。役所に行き親元の住所を調べ集金したり、夜討ち朝駆けと言って、早朝、夜間の集金もした。回収率98パーセントで年間表彰を受けたこともある。いま思えば雫石で培った精神が役にたったと思う。

現在の職場は、全国各地の業者向けに冷凍食品を卸しているの、レストラン等に行くところの値段がついているのか興味深く、気になってしまう。家族は職場結婚の妻と娘、孫二人で、古希を迎えたが現在も非常勤で働いている。同級会などで故郷に帰る機会も多くなったが、子どもの頃と変わらない岩手山や小岩井農場等ふるさとの景色を見ると、懐かしさで、ふるさとに感謝の想いがこみあげてくる。



珠算大会優勝(左)



小学校同級生との古稀祝い(前列左)



PTA卓球クラブ(3列目右から3番目)

昭和22年八区行政区生まれ。

上長山小学校—西山中学校—盛岡一高雫石分校—大丸百貨店—東亜食品工業(株)
埼玉県さいたま市在住。

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



写真左から：

萌乃ちゃん(長女・5歳)、政善さん(夫・35歳)、
陸人くん(長男・11歳)、悠人くん(二男・9歳)、
想乃香ちゃん(二女・10ヶ月)・望さん

ご縁があり、町外から迎えられた

「お嫁さん」

くどう のぞみ
工藤 望さん(35歳 山田町出身)
(旧姓：斎藤、天戸行政区在住)

Q- お二人の馴れ初めは？

- 以前同じ職場に勤めており、そこで出会いました。

Q- 雫石町に暮らしてみて、いかがですか？

- 子どもたちが遊ぶ公園が充実しており、子育てしやすい環境だと感じています。

Q- 町へ望むことは？

- 若い世代がずっと雫石町に住みたい、行きたいと思えるようなまちづくりを期待したいです。スポーツや文化を通じて、県内外から沢山の方が来るような仕組みをお願いしたいです。

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(10月～12月)】

月	葬祭費		お祝い、会費	
10月	0件	0円	1件	5,000円
11月	1件	20,000円	6件	25,000円
12月	0件	0円	6件	27,000円
小計	1件	20,000円	13件	57,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

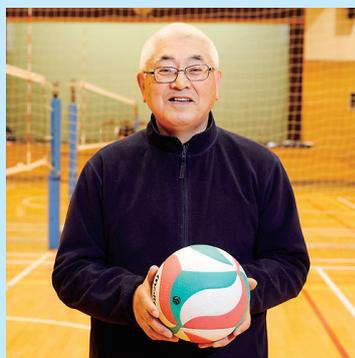
■編集デスク

広報編集特別委員会が29年8月から常任委員会となり、新たに副委員長を仰せつかりました。広報編集活動を2年間務めさせていただきましたが、まだまだ力不足とっております。町民の方々や先輩議員のご指導をいただきながら、広報活動をはじめ、議員活動に取り組んでいきたいと思っております。(広報広聴常任委員会副委員長 堂前義信)

今月の表紙

雫石排球団

代表：林崎正邦さん



代表兼監督の林崎さん
(林崎行政区)

下長山小学校体育館でボールを打つ音と大きな掛け声、元気に走り回る子どもたちの横で穏やかに指導する代表の林崎正邦さん。「バレーボールを好きになって欲しい」と、なんと30年以上も指導し続けている大ベテラン！

小学校バレーボール大会では、全国大会に何度も出場し、多くの教え子たちは、大人になっても慕って訪ねてくるほどです。楽しいバレーボールで身体だけでなく、心も鍛えよう！入団は随時大歓迎。詳しくは、町体育協会(692-5030)までお問い合わせください。